



広報 No.42

2022年6月

夏号



## 団だよりに寄せて

団長 館 和秀

5月15日コミュニティ合唱祭、22日ジョイ・コーラス、二週連続のコンサートを終え、団員の皆さんホッとしておられると思います。両者ともにコロナ禍により3年ぶりの開催となり、クリスマスコンサートの冬とはまた違った春の響き、久しぶりでした。

コミュニティ合唱祭は10周年記念であり、会場はあの憧れのザ・シンフォニーホール、舞台からの眺めに圧倒されます。素晴らしい経験でした。

ジョイ・コーラスは例年クレオ大阪南での開催でしたが、コロナ禍によるステージ人数制限からコミュニティプラザ平野での開催となりました。コミュニティ協会平野区支部協議会のみなさまには大変お世話になりました、御礼申し上げます。ゲスト出演いただいた平野吹奏楽団のみなさま、輝かしい響きを有難うございました。また、ママプラスひらのMerryのみなさま、ひらの混声合唱団OBのみなさま、ありがとうございました。

さて俳句、短歌、詩、恋愛小説、推理小説等いずれも読解力がポイント、楽譜もそうでしょうね。さらに、合唱は文字通り合わせることが大切で、団員の数だけ読解がバラバラでは合唱になりません。全団員が鹿岡先生の解釈を理解し、団員相互に共有し、そして声が共鳴する。この半年でまた一段ステップアップしたと、手前味噌ですが、そう感じました。

みなさん第22回クリスマスコンサートに向け、さらに一段昇りましょう。



第10回 大阪市コミュニティ合唱祭  
2022/5/15 ザ・シンフォニーホール

## 第7回 ひら混 ジョイ・コーラス



混声合唱アルバム黒い瞳 ロシアの熱情（編曲：相澤直人）♪ともび♪赤いサラファン♪カチューシャ・一週間・トロイカ♪黒い瞳

鹿岡先生：3年越しのジョイ・コーラス、色々な制約がある中で素晴らしい成果をあげられたみなさんに心から感服いたします。ひらの混声合唱団はどんどんレベルアップしてるということです。難曲である黒い瞳～ロシアの熱情～をあれほど立派に歌い上げたことは私にとっても誇りです。

私自身の体調管理やスケジュール調整など、いろいろ反省しております。皆さんが頑張っていたのおかげで、アンケート結果も良かったようでホッとしております。

クリスマスコンサートのメサイアでは気持ち新たに頑張っていきたいと思います。



平野吹奏楽団 ♪フローレンティナー・マーチ ♪宇宙戦艦ヤマト ♪北の宿から～北酒場～ルビーの指輪～勝手にしやがれ ♪マツケンサンバII

平野吹奏楽団監督・常任指揮者：植村 光雄、司会進行：原 浩樹



混声合唱 ♪ウィーン我が夢のまち ♪オーソレミオ ♪アムール河の波

竹村先生：ジョイ・コーラスに向けての皆さんの追い込みと集中力が素晴らしかったです。それができるのですから、もう1ヶ月早めにこの状態にもって行って欲しかったと思います。2週続きのコンサートで体力的にもきつかったと思いますが、それを乗り越えて大曲を歌われたのは凄いことだと思います。

本番を重ねて行って、気持ちのコントロールができるようになって行って欲しいというのが、私の高度な願いです。これからも、お身体に気をつけてレッスンに励んでくださいね。



男声合唱 ♪津軽海峡・冬景色 ♪喝采 ♪さそり座の女 ♪きよしのズンドコ節



女声合唱 ♪おお シャンゼリゼ ♪いのちの歌 ♪瑠璃色の地球

薬谷先生：ひらの混声合唱団がどんどん伸びていくのを嬉しく拝聴し、私も頑張らねば、と思いました。コンサートを一緒に作って行けて、嬉しかったです。また同じ舞台に立てることを楽しみにしています。



薬谷佳苗 ♪椿 ♪くちなし

## 第10回大阪市コミュニティ合唱祭

「十周年はオペラの名曲でお祝い！ありがとう！そして、これからも！」をテーマに大阪市コミュニティ合唱祭が、ザ・シンフォニーホールに於いて開催されました。第1部の各合唱団の個性溢れる演奏に刺激を受け、第2部の記念コンサートにふさわしい合同合唱のオペラは、観客をも巻き込んだ華やかな素晴らしい演出でお客様も大満足されていました。

清原先生、高原様、廣部様、諸先生方、ご尽力いただきました実行委員の皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございます。

ひら混アルト碓威都子さんの知人で、ザ・シンフォニーホールの企画設計を担当されました美濃吉昭様よりご感想をいただきました。



♪カチューシャ・一週間・トロイカ

### 「コミュニティ合唱祭の客席から」

美濃 吉昭

音響空間として、オペラ歌曲の専用ホールの望ましい残響時間は1.4秒から1.6秒だが、ザ・シンフォニーホールはコンサート専用ホールとして残響特性が2.0秒に設定されている。良く鳴り響くのだ。したがって「合唱団の歌声」の曲によっては、セリフの明瞭度に難が出るのではと、少し心配しながら聴衆として参加した。

第一部の12ステージのなかでは、やはりホールの響きが邪魔をする曲があるのは致し方なかった。その反面上手くハマったのが、「住吉区の永遠の花」、「東成区のふるさとへの山に向ひて」、「大正区の涙の流れるままに」、「旭区の若返りの水」、そして「平野区の黒い瞳」だと、聞こえた。平野区は男性ボーカルの効いた、ハーモニーが歌曲全体の品格を聞かせた。

第二部合唱祭のフィナーレは、歌劇カルメン第二幕からの闘牛士の歌「友よ、祝いの酒をいざ飲もう！」となる。指揮者の清原浩斗氏を中心に、バリトンの池田真己氏、鶴見区音楽団と各区全員参加のステージは後部座席に続く合唱隊となり、客席と一体となる。

アンコールの拍手喝采がつづき、祭りが最高の盛り上がりを見せる。プロセニウム\*の無いアリーナ型のホールは、まさに闘牛場のアリーナそのものの様相を呈し、「合唱の祭」の「楽しさ」の最高潮を分かち合っていた。

\*プロセニウムはプロセニウム・アーチのこと。プロセニウム・アーチは、歌劇場などで観客席からみて舞台を額縁のように区切る構造物をいい、緞帳やオペラカーテンなどの舞台幕が多用され、歌劇公演の質を上げるために登場した機構です。観客はその開口部（プロセニウム・アーチ）を通して、ちょうど額縁のなかの絵のように舞台を眺めます。

ザ・シンフォニーホールは、日本で初めてのクラシックコンサート専用ホールとして1982年に完成しました。プロセニウム・アーチは無く、前方の舞台を囲むように4面に客席が配置されたアリーナ型です。ヘルベルト・フォン・カラヤン氏が「ウィーン楽友協会大ホールに比肩するほどの音響」と絶賛しています。

## 「ひらの混声合唱団の皆さまへ」

平野吹奏楽団 団長 重木 淳宏

この度の「ジョイ・コーラス」開催にあたり、皆さまのきめ細かな準備のおかげで大きなトラブルもなく、大盛況のうちに無事終えることができました事、大変嬉しく思っております。

私たちも出演に向けて数多くの感染対策を行いながら練習に取り組んでまいりましたが、合唱団の皆さまはそれ以上に発声による飛沫対策で大変なご苦勞をされたのではないのでしょうか。それぞれが口元に飛沫防止の布を当てておられましたので、本来の音量を確保するためには相当な体力が必要になるかと思えます。私たちの楽器で例えると、おそらく音の出口であるベルの部分に厚手のタオルを被せて演奏しているようなもの…。にも関わらずあれだけの迫力あるステージに大変驚かされました。



また、私たち平野吹奏楽団にとりましても、今回の「ジョイ・コーラス」で皆さまとご一緒させていただいた事でいくつもの見習うべき点もございましたので、今後の活動に向けての貴重な経験にもなったと思います。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、ひらの混声合唱団の皆さま、そしてコンサートの開催に際しご協力下さいました関係者およびスタッフの皆さまにこの場をお借りし、改めて御礼申し上げます。今後も平野区の地域行事を盛り上げていくためにも互いに力を合わせ、末永いお付き合いとご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### ジョイ・コーラスアンケートより抜粋 (事務局 坂野 俊行まとめ)

- ♪ コンサートは良かったです。良く知られた楽しい曲ばかりで、ハーモニーもきれいでした。曲はポピュラーなのですが、編曲がとっても難しそうで、良く練習されたんでしょうね。タイミングも揃ってました。年々皆様若返って、上達されていくようで羨ましいです。
- ♪ 平吹の宇宙戦艦ヤマトはステキでした。昭和 50 時代の歌は懐かしく楽しかった。次回もお願いします。「いのちの歌」良かった。ピアノ伴奏はステキでした。ソリスト「椿」戦争が終わった歌詞のようにロシアとウクライナも早く終わって欲しいと思い聴きました。プロの歌はすごい！いつも楽しみです。鹿岡先生お大事に。次待ってます。
- ♪ 美しい歌声聴かせて頂き有難うございました。男声合唱は力強く楽しかったです。女声合唱はしっとりと繊細で心が和みました。「椿」は心に響きました。戦争は悲しいですね。早く平和になって欲しいと願います。ロシアの熱情は素晴らしいかったです！！アンコール曲「白樺」初めて耳にしました。いい曲ですね。
- ♪ 平吹とのコラボ、とても良かったです。地元同志これからも連携して活躍されることを期待いたします。



### 今後のコンサート予定

8月30日(火曜日) アンサンブルココア主催	阿倍野区民センター 小ホール
10月5日(水曜日) 田中めぐみ・鹿岡晃紀デュオコンサート	八尾プリズム小ホール
12月4日(日曜日) 平野区クリスマスコンサート	コミュニティプラザ平野

クリスマスコンサートでは「メサイア」より第4, 11, 39, 47番の4曲抜粋して演奏します。

「メサイア」はヘンデルが作曲したオラトリオ(祈禱所の意から、キリスト教的題材をオーケストラの伴奏による独唱、合唱を用いて劇的に構成したもの)です。キリストの「救世主生誕・降誕」・「受難と贖罪」・「復活・永遠の生命」の3部からなります。テキストはすべて旧約及び新約聖書の英訳からとられ、叙事的要素よりもキリスト教の救済の理念が強調されているのが特徴です。なお「メサイア」とはヘブライ語の「メシア」を英語読みしたもので、通常「救世主」と訳されます。

編集後記：団だよりにご協力いただいた方々、ありがとうございました。ザ・シンフォニーホール設計者の美濃様ならではのご感想をいただけたことは大変嬉しく思います。2週連続のコンサートはハードでしたが、この社会情勢の中でウクライナとロシアの数曲を歌ったことや、素晴らしいホールで歌ったことは、思い出に残ることでしょう。(萩原・鳥居)